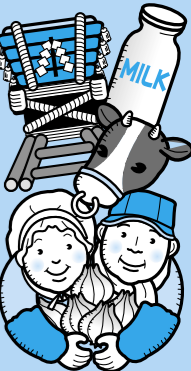


# まちかどピックス

地域の催しや明るい話題などが  
ございましたら、気軽に広報係  
までご連絡ください。  
☎43・5002(秘書広報室)



## おめでとう

森本竜司くん・福岡翔輝くん、  
わんぱく相撲全国大会に出場



▲後列左から福岡翔輝くん、中田市長、森本くん、前列左から榎本都くん、島田くん

## 交通事故の発生を叩き落とせ



▲交通安全を呼びかける倭文中学校音楽部のメンバー

交通安全を街頭で呼びかけ

南あわじ市交通対策協議会(中田勝久会長)では、七月七日、夏の交通事故防止運動の一環として中山峠で自動車運転者らに対し、交通安全街頭呼びかけを行いました。市内では今年に入って五件の死亡事故が発生。過去十年の間では最悪のペースで発生しています。街頭啓発には警察や交通安全協会、家用自動車協会の

## 灘小学校児童 短冊に願いを込め

子どもたちに七夕行事を知ってもらおうと、七月四日、灘地区老人クラブ内のゆづりはクラブが灘小学校で「七夕会」教室を開きました。同小では、地区の老人クラブが講師となり、灘に伝わる料理や太鼓、唄などを教える「伝統文化こども教室」を開いています。今回は近年まで地区を挙げて行われていた七夕祭がテ

マで、同クラブの会員十人が全校生四十三人に七夕飾りの付け方を指導したほか、当時の祭の様子を語ってくれました。子どもたちは「みんな健康でありますように」「勉強が得意になりますように」などの願いが込められた短冊を笹に付けました。その後、願いが叶うように地元でとれた野菜や果物など



▲短冊を飾る子どもたち

会員ら約四十人が参加し、辰美中学校全校生(百十七人)らの手書きの交通安全へのメッセージの入ったチラシなどを配布しました。また「交通事故の発生を叩き落せ」と倭文中学校音楽部のメンバーらが大鼓を打ち鳴らし、同協議会会員らとともに交通安全を呼びかけました。音楽部部長の奥野真未さん(二年)は「私たちの願いがドライバーたちに響けば」と交通事故のない安全なまちを願っていました。

## 育てよ(こ)こころからだとはいやの



▲決議宣言をする芝壽浩連合自治会長

第1回南あわじ市青少年健全育成市民会議

青少年問題について考え、市民の活動目標を掲げる「南あわじ市青少年健全育成市民会議」が七月十五日、西淡公民館大ホールで行われ、関係者約三百五十人が参加しました。会議では、連合婦人会による青少年非行防止寸劇と、南あわじ警察署の武田英雄生活安全課長から市内の犯罪数や事例等の報告があり、その後、清原桂子兵庫県理事により「地域コミュニティの再生を目指して」と題した講演会

があり、「多くの人間関係を子どもたちに与えることが大切。地域で声かけ運動をしてほしい」と呼びかけました。講演に続き、芝壽浩連合自治会長より決議宣言があり、青少年健全育成のスローガンと活動目標を地域を挙げて推進することを誓い合いました。

- 活動目標**
- ①地域がひとつの家庭になって「あいさつ」の声かけにつとめます
  - ②子どもの名前を呼んで、にこやかな「声かけ」につとめます
  - ③「声かけ」からまちの隅々まで「目の届く」雰囲気づくりにつとめます

## 家庭と地域を支える女性が集つ

南あわじ市連合婦人会(奥井光子会長)と南あわじ市消費者協会(山下富子会長)が発足後初めて合同で、意識高揚をはかる「南あわじ市婦人大会」が七月十日、西淡社会教育センターで行われ、各地区から二百人が出席しました。奥井会長は「参画と協働の精神で南あわじ市を支えましょう」とあいさつ。山下会長からも「安全・安心な消費生活へ地域のみなさんのお役にた

南あわじ市婦人大会が開催

てれば」と思いを述べ、中田市長からも「家庭・地域を守る存在として心強い」と日ごろの努力に感謝を述べました。その後、地域婦人会活動に貢献してきた退任役員らに感謝状が贈呈され、式典終了後には、地区対抗のバレーボール大会で交流を深めました。連合婦人会では、今年四月に県内初めての聴覚障害者特別養護老人ホーム「淡路ふく



▲盛大に開催された南あわじ市婦人大会

ろうの郷」の建設に向けての募金を募るなど、地域のまちづくりに貢献しています。

## みんなで淡路島をきれいに 全島一斉清掃

淡路島をみんなの手できれいにする全島一斉清掃が7月10日に行われ、多くの方が参加されました。雨が降りしきり中、住民の方々はポイ捨てされた空き缶やゴミなどを拾い集めたほか、草刈り機を使い道端や河川の雑草を刈りました。拾われたゴミなどは各地区の指定された場所に集められ、清掃センターへ集約。市内全域から可燃約30トン、不燃約10トンのゴミが集まりました。



▲道端のゴミを拾う市民(松帆)

## パソコンで創造力と探究心を育てる 全保育所に園児用パソコンを導入

市内の全保育所に園児用パソコンが導入されました。これはパソコンメーカー・日本IBM社が社会貢献として全国に提供している一環で、去年は一部の保育所で導入されていました。このパソコンはゲーム性を取り入れながら、子どもたちの創造力や探究心を引き上げる教育ソフトが多数入っています。6月25日には、このパソコンを保育の中でどのように取り入れればいいのかを学ぶ研修会が行われ、保育士らが受講しました。



▲パソコンを楽しむ園児たち(広田保育園)

## 窪田真也くん、ジュニアオリンピックカップに出場



▲窪田真也くん

窪田真也くん(福良小4年)が八月二十六日〜三十日に東京辰巳国際水泳場で行われる「第二十八回全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会」への出場が決まりました。窪田くんはサンプルのスイミングスクールに所属、二百メートル個人メドレーに出場します。

七月三日に神戸市で行われた公式記録会で当大会出場の標準タイム(二分五十四秒五)を突破し、出場を決めた窪田くん。「大会では決勝進出を目指したい」と語ってくれました。

## 壽圓秀美さんに神戸地方方法務局長感謝状

七月十五日に市長室で、長年にわたり人権擁護委員を務められた壽圓秀美さん(倭文)に神戸地方方法務局長感謝状が贈られました。